

平成24年度第10回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会の概要

- 日 時： 平成25年3月18日（月） 13時30分～15時00分
- 場 所： 京都市立病院 4F会議室
- 出席者： 理事長 内藤 和世
理 事 新谷 弘幸, 位高 光司, 山本 壯太, 小西 哲郎, 木村 晴恵
監 事 中島 俊則

1 開会

2 議事

(1) 平成24年度補正予算（案）について

原案どおり了承された。

(2) 平成25年度年度計画（案）、予算（案）について

○ 医療機能の強化について

（主な質疑内容）

- ・ 中長期的視点から見ると、2025年問題がある。急速な都市部の高齢化が進み、今の医療制度を変えていかなければならなくなる。急性期の患者を診る急性期病院、急性期以外の患者も診る一般病院など、分類がより明確になる。どの道を選択するのか、決めていく時期でもある。市立病院は、整備運営事業によって先進医療に対応できるようになった。急性期病院としての道を選択したといえる。
- ・ 設備面の充実は必要ではあるが、人材も重要である。人をいかに育てられる病院になるかが1つのポイントになる。
- ・ 急病診療所は、内科・小児科を中心として眼科や耳鼻科などの特殊な診療科を含めて、夜間及び休日の急病の応急診療を行う診療所である。応急診療だけであるので、精密な検査が必要な患者や入院診療が必要な患者を受け入れる後送病院がある。25年度から、京都医療センターに代わり、市立病院が急病診療所の後送病院となった。

(3) 平成25年度機構改革（案）について

(4) 職員給与規程及び職員退職手当支給規程の改正について

○ 退職手当の引下げについて

（主な質疑内容）

- ・ 勤続年数その他により引下げの割合が異なっている。勤務条件及び処遇等について、京都市と等しくするという協約を組合との間に定めており、その協約をもとに運用している。

3 報告等

(1) 人事評価制度について

（主な質疑内容）

- ・ 将来的には、人事評価をフィードバックしていきたいと考えている。職員の意欲を高め、

自己啓発につながれば良い。制度の運用開始3年目には処遇への反映ができればと考えている。

- ・ 人事評価者は1人ではなく、段階ごとに評価者が変わる。評価については、委員会にかけて、複数の人間の目を通すようにする予定である。今後、適切な評価ができるよう、体制を検討していきたい。

(2) 経営状況月次（2月分）報告

(3) その他

○ 京北病院の旅費について

（主な質疑内容）

- ・ 民間の他病院については、出張にかかる旅費等も研修費に含まれるが、市立病院機構では旅費を含めずに算出するため、研究研修費が少額になっている。京北病院の欄に記載の100万円は、外部研修の受講費等である。どれぐらいの人材育成経費を見込んでいくかについて今後考える必要がある。

4 閉会